

オーストラリア シドニー視察レポート 「ビジネスパートナーとしてのオーストラリアを探る第2弾！」 最先端のサイバーセキュリティの研究現場を視察

JASA国際交流員会でオーストラリアシドニーを視察しました。「ビジネスパートナーとしてのオーストラリアを探る第1弾」と題して開催した、2022年度のグローバルフォーラムは、優秀な人材の多さや、日本とのFTAの活用、ATT制度の活用など、オーストラリアの魅力に浸れる講演でした。これらの講演を受け、第2弾では、シドニーを訪れ、大学および企業を視察することで、ビジネスパートナーとしてのオーストラリアがより具現化した視察となりました。

国際交流委員会委員／
(株)金沢エンジニアリングシステムズ
中西 尚子



オーストラリアの概要

JETRO シドニー事務所より「オーストラリア概況と日系企業の進出動向」について説明して頂きました。オーストラリアは移民や自然増により3年間で100万人ずつ人口が増加し続けています。特にIT・デジタルにおけるインド人の移民の増加が顕著です。GDPの構成比の70%超が金融、保険、不動産などのサービス産業で、次いで資源中心の産業、小麦・牛肉などの農林畜産業となっています。

一方、人件費の高騰や、広大な土地と少ない人口により物流面に課題があり、製造業が育っていません。日本の大手メーカーの工場もオーストラリアから撤退しており、自動車、家電など製品はほとんどを輸入に頼っています。また、新エネルギー産業への投資を拡大しており、クリーン水素の輸出と国内市場の需要と供給を安定させ、拡大させる方針が打ち出されています。日本は最大の水素需要国になると見込んでいるようです。



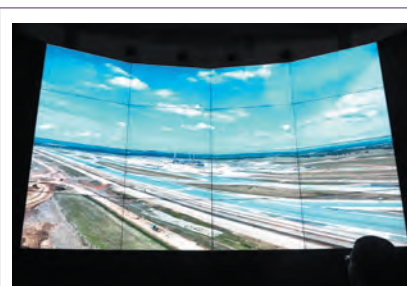
シドニー日本商工会議所 シドニー日本人会

シドニー商工会議所は、会員共通の利益の増進、日豪間の友好親睦および経済・文化関係の進展を目的としています。意見・提言活動、各種勉強会、セミナー、講演会、懇談会、親睦会、広報活動などを実施しています。

シドニー日本人会は、シドニー在住の日本人および日系人の文化活動についての議論と参加の場の提供、社会・文化・経済事情の助言や経験の交換、日豪経済文化交流の進展、日本人学校の管理運営の協力を目的としています。レクリエーションなどの各種イベントの実施、カウラ訪問ツアーを通して、日豪交流と歴史を繋ぐ活動など行っています。

西シドニー空港(エアロトロポリス)の視察

2026年に完成予定の西シドニー空港の建設現場を視察しました。シドニーから鉄道で1時間程の地域に建設しており、西パー



■西シドニー空港

クランドシティとしてシドニー大都市圏の第三の都市にする構想で都市開発が進んでいます。オーストラリアらしい広大な土地に、滑走路とターミナルビルを建設している様子を視察できました。今後は、空港施設の他に交通インフラ、商業施設、住宅、ホテルなどの建設が予定されており、多様なビジネスチャンスがあると考えられます。現在は建設中の空港施設以外は何もない風景ですが、都市に様変わりする未来が楽しみで、再訪したいものです。

大学訪問

留学生が多く(留学生比率40%程度)在籍しています。研究の説明をしてくれた学生も留学生で、学食のメニューも多国籍で留学生の多さが伺えました。寿司のメニューもありました。視察した2つの大学は研究設備が非常に充実しており、参加者の中からは、ここで学生をやり直したいという声が聞かれました。

■ シドニー工科大学

斬新な建築物が目を引きました。企業が何をやっていけばよいのか分からない時の橋渡しを”Rapido”と表現しており、大学の特色になっていました。セキュリティ研究、ロボットアームの研究、通信・5Gの研究、藻の研究などを紹介して頂きました。

共同研究をしている日系企業の方からは、日本向けの製品を、他の国の仕様(マーケティング)にローカライゼーションする際に利用価値があり、日常サービス、製品を考えられる大学であるという話を伺いました。例えば、アメリカの場合は、知財などの規制が厳しいですが、オーストラリアの場合は、大学と共同研究しても企業側のメリットがでる契約ができるようです。

■ シドニー大学

オーストラリアで最も古い大学で、世界大学ランキングのトップ50に含まれています。シドニー工科大学に比べ、基礎研究を重視していました。一般的な理工学系の専攻に加え、プロジェクトマネジメントの専攻があるところが特徴的でした。鉱山オートメーションの研究、月面走行の研究、収穫量予測の研究、水中ローカライズマッピングの研究、自動走行の研究、long-range WiFiの研究、ゴミ分別の研究、セキュリティFPGAの研究、ヘルスケアIoTの研究、ビール製造IoTの研究、炉や3Dプリンタを使った素材・形状の研究を紹介して頂きました。

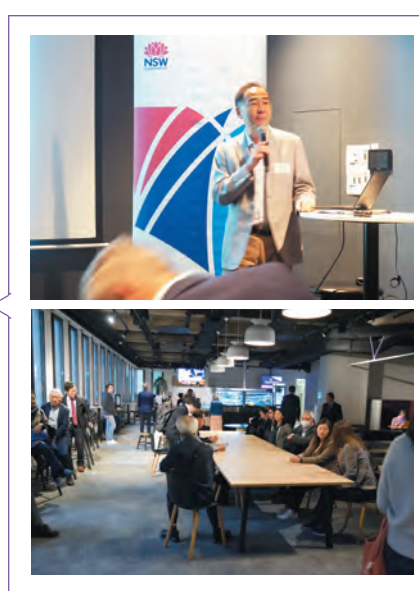
シドニースタートアップハブ(SSH)訪問

雇用創出のためのスタートアップ企業、中小企業の支援を目的に、政府の出資より、2018年から本格稼働しています。現在は500社、18,000人が働いています。技術者の育成、イノベーション、起業の推進を任務としており、日本からの投資も重要視しています。国内外問わず、企業同士をブレンドすることによる新しい事業の創出にも寄与しています。SSH参画企業の中で、サイバーセキュリティ関連の企業を中心に、サイバー産業エコシステム(AISA、AustCyberの2社)と、サイバービジネス(Threat Defence、Janusnet、PassMarkの3社)について紹介して頂きました。サイバー産業のエコシステムでは、サイバーリスクが高まり続ける中、政府および企業のサイバーエコシステムの手助けをしています。コネクションをつくるためのイベントの開催やサイバーセキュリティのトレーニング、人材育成を開催しています。

サイバービジネスでは、ハッキング検知ソフト(Threat Defence社)、保護マーケティングソリューション(Janusnet社)、コンピューターの脅威の解析の手法、診断、指標のユニークなノウハウ(PassMark社)について紹介がありました。

今回の視察の感想

日本とは季節が逆のオーストラリア。日本はこれから夏に向かう季節の中、オーストラ



リアの気温は少し肌寒く、秋の様相でした。過去にフィリピン、タイ、中国、ベトナムと視察がありましたが、今回は初の先進国の視察となりました。物価の高さはありませんでしたが、衛生面や防犯面において、安心して視察することができました。クレジットカード王国と聞いていた通り、ほとんどの店でクレジットカードを使用することができ、日本で両替した現金の使い場所に困る程、キャッシュレス化(タッチ式のクレジットカード)が浸透していました。今回の視察は、直前まで視察先との調整が続いており、たいへんな労力であったと伺っております。時間が足りない程の濃密な視察内容となっており、関係者の方々の尽力ありがとうございました。

■ シドニー工科大学



■ シドニー大学

